

令和２年度 岩城小学校 学校関係者評価集計表

結果 : 4＝あてはまる 3＝おおむねあてはまる 2＝どちらかといえばあてはまらない 1＝あてはまらない

2021年1月28日

評価 : A＝対象の80%以上が肯定 B＝対象の70%以上が肯定 C＝対象の60%以上が肯定 D＝対象の60%未満が肯定

＜太字は課題となる結果＞

項 目	評価指標	評価資料	アンケート結果					評価	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員から)
			4	3	2	1	無			
教育目標	「夢に向かって とともに励む児童の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員 児童 保護者 地域住民	4 15 7	5 29 15	1 1 0	0 0 0	0 4 0	A	・保護者や地域の肯定的な意見が多い。ホームページや学校だよりによる発信や周知ができています。 ○今後さらに各種会議、PTA役員さんへの情報提供をしていく。	
学力・ 学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	7	3	0	0	0	A	・教職員と児童と保護者の評価に差がある。 ・自分の意見をはっきりと伝えることが苦手だと考えている児童、保護者がいる。 ＜来年度の取組案＞ ○発達段階に応じた発表の仕方の指導を検討する。 ○表現の場を多く設け、自分の考えを大きな声で発表できるよう励ます。	・児童の実態に合った学習のポイントや家庭学習の方法を保護者へ伝え、学校と家庭とが連携して、望ましい学習ができるように取り組んでいく。 ・発表について、発達段階に合わせた指導をしていく。考えて発表・発言することを学校内外の様々な場面で取り組みたい。
		児童	42	27	5	1				
		保護者	17	29	2	0	2			
		地域住民	7	14	0	0	1			
	望ましい学習習慣・学習態度（家庭学習も含む）を育成している。	教職員	2	8	0	0	0	A		
		児童	52	17	7	0				
		保護者	10	30	8	1	0			
		地域住民								
	児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	2	5	3	0	0	B		
児童		38	24	11	2					
保護者		3	28	12	2	4				
地域住民										
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	4	6	0	0	0	A	・今後も、主体的、対話的で深い学びにつながる授業を目指して授業研究に取り組んでいきたい。 ○さらに授業改善を図り、分かる喜び、学ぶ楽しさを追求する授業を推進していく。 ・コロナ禍であるが、自然、文化について計画的に地域人材を活用し、連携していくことが大切である。	・岩城のレモンの収穫体験や造船の仕事についての話を聞くなど、学校支援ボランティアを活用して、地域の人材を活用していくようにしたい。
		児童	68	5	1	1				
		保護者	23	24	2	0	1			
		地域住民	10	12	0	0	0			
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	4	6	0	0	0	A		
		児童	36	23	10	5				
		保護者	28	19	2	0	1			
		地域住民	12	7	1	0	2			
心の教育	望ましい人間関係づくりができています。	教職員	4	6	0	0	0	A	・思いやりのある児童が育つように指導を工夫し、望ましい人間関係づくりをしていきたい。	・今後も縦割り異学年活動、地域住民との交流など豊かな体験活動を増やしていきたい。
		児童	60	14	2	0				
		保護者	18	25	4	0	3			
		地域住民								
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	3	7	0	0	0	A		
		児童	68	7	1	0				
		保護者								
		地域住民								
	人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	3	7	0	0	0	A		
		児童	42	29	2	2				
		保護者	25	20	2	0	3			
		地域住民	10	9	1	0	2			
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員 児童 保護者 地域住民	8 39 32	2 26 17	0 10 1	0 0 0	0 0 0	A	・休み時間に運動場で体を動かす児童は多い。運動が苦手な児童への支援の仕方を工夫していきたい。	
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員 児童 保護者 地域住民	5 55 32	5 15 17	0 5 1	0 0 0	0 0 0	A	・コロナ禍で制限があったが、運動会、しめ縄づくり等で工夫を凝らしながら、地域と交流できた。	
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員 児童 保護者 地域住民	5 43 19 6	5 24 24 13	0 6 4 0	0 2 0 0	0 3 3	A	○アンケート等を利用して教育相談を充実させたり、気軽に話せる人間関係の構築に努めたりしていきたい。 ○スクールカウンセラーやハートなんでも相談員の活用法を充実させたい。	
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができています。	教職員	2	8	0	0	0	A	・多くの児童は挨拶ができていますと考えているが、保護者の評価はそうではない。 ○家庭への感謝や地域とのつながりについて考えさせながら、挨拶指導を進めていきたい。	・挨拶はしていても、進んで気持ちのよい挨拶が十分にできているとはいえない。よい挨拶ができる児童を称揚することに加えて、挨拶のよい手本を示し、挨拶のよさを理解させて、指導を続けていきたい。
		児童	37	27	6	4				
		保護者	18	27	5	0	0			
		地域住民								
	進んで気持ちのよいあいさつができています。	教職員	5	5	0	0	0	A		
		児童	42	28	5	0				
		保護者	9	28	10	2	1			
		地域住民	11	9	1	1	0			
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員 児童 保護者 地域住民	3 34 8	6 21 26	1 9 10	0 11 2	0 4	B	○低学年段階では難しいとも言えるが、将来の夢について考える機会を設定するなど工夫していく。 ○スピーチなどを通して、自分の思いを表現する場を設けるようにする。 ○キャリアパスポート、道徳の時間を利用する。	・学校での朝の会や帰りの会、特別活動、道徳の時間はもちろん、学校外においても今の自分、これからの自分について考える機会を設けるように働きかけていきたい。
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができています。	教職員 児童 保護者 地域住民	5 49 22 12	5 22 25 9	0 4 1 1	0 1 0 0	0 2	A	・昨年度の防災への取組を今後も生かしたい。	
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員 児童 保護者 地域住民	7 17	3 28	0 4	0 0 1	0	A	・これからも校内体制をしっかりと整え、全教職員が協力して取り組んでいきたい。	
保護者・ 地域との 連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	7	3	0	0	0	A	・地域、保護者の期待に応える教職員を目指す必要がある。 ・ホームページはよく更新されており、アクセス数は多い。	
		児童								
		保護者	22	25	3	0	1			
		地域住民								
	「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	7	3	0	0	0	A		
		児童								
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	教職員	4	6	0	0	0	A	○環境整備は努力しているが、運動場整備、草引きなどを継続的にしていかなければならない。 ○ボランティア活動の充実を図っていきたい。	
		児童	61	14	1	0				
		保護者	22	22	6	0	0			
		地域住民	11	10	1	0	0			